

森町濁川地域地熱水利用施設視察研修

平成 28 年 6 月 8 日

納内地域集落対策協議会では、森町濁川地域の地熱水利用トマト栽培農家を視察研修し、森町トマト生産協議会の伊藤 博之会長から説明を受けました。ハウス内に地熱水を流すチューブを回し、チューブから入ってくる温水は60度以上にもなり、外気温がマイナス20度でもハウス内の温度は25度であること。この地域でハウス1棟の維持経費が年間15万円で済むことは、他の地域の冬期栽培では、1ヶ月分で灯油代が15万円を超えることから、大きな経費削減効果があることに参加者一同大変驚きました。参加者は熱心に説明を聞き、質問もして大変有意義な研修となりました。

